

事業計画事例～小売業編 Vol.1

事業計画事例では、開業レポート2012のアンケート調査やインタビュー取材でヒアリングした数字をもとに、起業して成功している会社のリアルな事業計画をサンプルとして作成しました。これから起業・独立する方は是非ご参考ください。

1. 開業資金と開業費用

まずは開業資金と開業費用。店舗型の小売業全般の傾向としてそれなりの初期投資が必要になる。今回の計画書では自己資金800万円に、借入を400万円して合わせて1200万円を開業資金として設定した。

開業費用の内訳は、店舗契約費と前家賃、敷金6カ月で計190万円、内装工事費で30万円、空調機器などで20万円、商品棚など什器・店舗用品で50万、電話・FAX等で10万円、レジなどのOA機器で10万円、初期仕入れ費150万円、会社設立費用30万円、合計で470万円。最近は居抜き物件などが安く借りられるケースも多いので、店舗費用はもう少し抑えられるかもしれない。内装などはDIYで安く済ませて、開業経費を抑えたい。

開業資金	1,200万円
内訳	800万円 (自己資金)
	400万円 (借入)
	万円 (その他)

開業費用	470万円
店舗賃貸契約費	20万円
店舗保証金	120万円
店舗前家賃	20万円
事務所・店舗費用(工事費など)	30万円
厨房機器・空調機器など	20万円
店舗用品など	50万円
オフィス用品など	10万円
OA関連機器など	10万円
文具・事務用品など	10万円
その他(初期仕入れ費用)	150万円
会社設立費用・開業諸経費	30万円

2. 売上、経費、利益

	初年度	2年目	3年目	
売上(年間)	1,500万円/年	2,000万円/年	2,500万円/年	
経費 (1カ月単位)	原価	960万円/年 (80万円/月)	1,272万円/年 (106万円/月)	1,596万円/年 (133万円/月)
	人件費	万円/年 (0万円/月)	万円/年 (0万円/月)	万円/年 (0万円/月)
	役員報酬	240万円/年 (20万円/月)	240万円/年 (20万円/月)	360万円/年 (30万円/月)
	家賃等	240万円/年 (20万円/月)	240万円/年 (20万円/月)	240万円/年 (20万円/月)
	水道・光熱費	36万円/年 (3万円/月)	36万円/年 (3万円/月)	36万円/年 (3万円/月)
	広告宣伝・販促費	60万円/年 (5万円/月)	60万円/年 (5万円/月)	60万円/年 (5万円/月)
	その他営業諸経費	24万円/年 (2万円/月)	24万円/年 (2万円/月)	24万円/年 (2万円/月)
	借入金の返済	84万円/年 (7万円/月)	84万円/年 (7万円/月)	84万円/年 (7万円/月)
	利益	-144万円/年	44万円/年	100万円/年

続いて売上だが、1年目で1500万円、2年目で2000万、3年目で2500万円という試算にした。1年目の経費と利益だが、スタッフは雇わないとして、人件費はゼロ、最低限の生活費として役員報酬に年240万円/月20万円を設定した。

その他の経費は最も大きいのは原価(仕入れ)で年960万円/月80万円とした。原価率は7割弱という設定だが、小売業であれば扱い商材によって原価率はまちまちだが、6~7割というのは平均的だ。それ以外では家賃が年240万円/月20万円、広告宣伝はチラシを定期的に配布するなどの費用で年60万/月5万、水道光熱費が年36万/月3万、その他営業諸経費が年24万/月2万。また、借入金の返済が毎月7万円程度になる。そうして計算すると1年目は赤字、2年目と3年目で初年度の赤字を解消という計画になる。

小売業は常にお金が入る業態だが、商品の仕入れ代金などの運転資金の確保が重要。2年目、3年目には固定客もついて売上が安定してくれば利益も出てくるようになり、余力も生まれるだろう。この計画では、3年目終了時点の安全率が3.65だが、小売業であれば、3~4カ月程度の運転資金があれば安全な経営といえるだろう。